

経営学部学生がクリーンキャンペーンを実施

12月14日の2時限目(11時10分から12時40分)、東武東上線坂戸駅から坂戸市役所までの区間で、経営学部プロジェクト研究科目の一つである「まちづくり II」(後期科目・1年次配当科目・担当教員 草野 素雄先生・履修者数 354名)を履修する学生が「クリーンキャンペーン」を実施した。

「まちづくり II」の授業の方法は、パワーポイントやビデオを使った講義で、まちづくりの理論を学ぶだけでなく、“まちづくり”を実際に身をもって体験し、将来のキャリア形成に繋げることを目標に街に出て実践的学習をするフィールドスタディーに重点を置いた内容になっている。

後期の授業で、「震災復興プロジェクト」、「香川県丸亀町の商店街再開発」などのまちづくりの事例を学んだ学生が、まちづくりプロジェクトとして地元商店街活性化プロジェクトに参画した後、プロジェクトの締めくくりとして、坂戸市役所の協力の下、授業で指定された3つのコースの担当ルートを、ゴミを集めながら進んだ。突然、現れた学生達に、市民から「何をしているの?」との質問を受けた学生は、「坂戸クリーンキャンペーンです。」と堂々と返答し、「ありがとう。」の労いの言葉を頂いた学生も多数である。



ゴールの市役所に到着すると、市役所職員の協力により、ゴミの計量と分別が行われた。続々と到着する学生の手にある収集袋の中には、途中で拾い集められたゴミがいっぱいになっている者や、「何処にそれが落ちていたの?」と市役所職員も驚いてしまう物を拾い集めた学生もいた。最後に、集合した学生へ坂戸市長より、今回のクリーンキャンペーンのお礼のあいさつがあった。



ゴミ拾いなど些細なことではあるが、理解はしているものの行動に移せなかった学生も、今回のクリーンキャンペーンでの経験から学んだ体験が、今後の社会生活に生かせることを期待したい。一人では本当に小さな事であるが、一つの目標に向かい協力して多数の者が行動に移せば、大きな力になり、それが、地域に対して実施されれば、いつも生活している地域に貢献できる喜びを学んだ学生も多いはずである。今回の行事に協力して頂いた坂戸市役所等関係者の皆様に心より感謝致します。



経営学部事務室 吉野勇